



そんけいご
尊敬語

「尊敬語」は“目上の人”や“あまり親しくない人”などの動作や状態を高めて、丁寧
に言うときに使います。敬語の一つで、その人への“尊敬の気持ち”が表現できます。

例) ① 客 → お客さま

2 2 1 [b] 注1



おきゃさま

例) ② 大切な人 → 大切な方

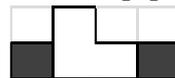
2 2 2 1 [b']



たいせつなかた

例) ③ 元気 → お元気

1 2 1 [c]



おげんき

例) ④ 忙しい → お忙しい

2 2 2 [c]



おいそがしい

例) ⑤ いい → よろしい

2 2 [c]



よろしい

例) ⑥ ゆっくり → ごゆっくり

1 2 2 [c]



ごゆっくり

★上の例のような名詞 (①②)、形容詞 (③~⑤) のほか、副詞 (⑥) でも表せます。

★動詞には、いくつかの表現方法があります。

♪ 特別な形

例) いらっしゃいます、召し上がります、ご覧になります、なさいます など

♪ 規則的な形

「お+ (マス形) になります」

例) お上がりになります、お会いになります、お帰りになります など

「~ (ら) れます」

例) 来られます、会われます、帰られます、されます など

☞ “特別な形” は最も丁寧な表現ですが、数が少ないです。受身と同じ「~ (ら) れます」の形が性別や年齢に関係なく、気軽によく使われているようです。



♪ お客さまがいらっしゃいます♪

さあ、大変！ 大切なお客さまが急に家へ来ることになりました。「いらっしゃいます」など“特別な形”の尊敬語がたくさん出てきます。歌で覚えてしまいましょう。

(1) 最近では“下がり目”のない [b] 型ではなく、[c] 型アクセントの「お客さま」もよく耳にします。

にほんご発音ラボ

ことばと表現 ひょうげん

- ▶大慌おおあわて：非ひ常じょうに慌あわてること。「大おお〜」で程度ていどの大きさおおを表あらわす（例：大急おおいそぎ、大喜おおよろこび）。
- ▶電話でんわされて、訪たずねられて：これらは尊敬語そんけいごではなく“迷惑めいわくの受身うけみ”。
- ▶こここゝで失礼しつれいします：「ここ」とは玄関げんかんのこと。“用事ようじが終おわったら、すぐかえに帰かえります”という意味。
- ▶上あがります：この場合ばあいは“玄関げんかんで靴くつを脱ぬいで、人ひとの家いえに入る”こと。

かし まな 歌詞から学びましょう



よく使われる“特別な形”の尊敬語 そんけいご



- ★特別な形とくべつ かたちの尊敬語そんけいごを、歌詞かしに出てくる順じゆんに練習れんしゅうしましょう。「いらっしゃいます」と「召めし上あがります」には複数ふくすうの意味いみがあるので、注意ちゆういしてください。

ていねいご かたち 丁寧語の形	そんけいご かたち 尊敬語の形
行 <small>い</small> きます・来 <small>き</small> ます・います	いらっしゃいます
〜て (い) 注2 ます	〜て (い) 注3 らっしゃいます
知 <small>し</small> って (い) 注4 ます	ご存 <small>ぞん</small> じです
言 <small>い</small> います	おっしゃいます
飲 <small>の</small> みます・食 <small>た</small> べます	召 <small>め</small> し上 <small>あ</small> がります
見 <small>み</small> ます	ご覧 <small>らん</small> になります
します	なさいます



その他、規則的な形た きそくてき かたちの尊敬語そんけいご

- ★「お+ (マス形) です」も使つかわれることがあります。

例) お急いそぎです、お帰かえりです、お出でかけです。

- ★「お／ご〜ください」は「〜てください」の尊敬表現そんけいひょうげんです。駅えきや店みせなど日常生活にちじょうせいかつの場ばで、よく耳みみにします。

例) 白線はくせんまで下さがって、お待まちください。

携けいたい電話でんわの使用しようは、ご遠慮えんりょください。

(2)~(4) 話しことばでは「〜ている」の「い」を省略しょうりやくした「〜てる」の形かたちが使つかわれることがあります。